第16回 植物病原菌類談話会 ご案内

「モルフの名前は一ふるい！命名規約の改定に伴う植物病原菌類の学名統合の行方について」

平成 28 年 3 月 23 日 (水) (大会 3 日目) 15 : 00~18 : 30
岡山コンベンションセンター 2 階レセプションホール
(平成 28 年度植物病理学会大会 第 3 会場)

講演内容:

1. 命名規約の改正に基づいた菌類の 2 重命名法の廃止による、有性・無性学名の統一問題について

農業生物資源研究所

青木 孝之

2012 年に改訂された国際藻類菌類植物命名規約では、これまで永く使われてきた菌類の二重命名法が廃止されました。このことから生じる菌類学名への影響について、具体例をあげて解説します。

2. 植物病名目録における学名統合の影響

岩手大学連合農学研究科 (弘前大学) 橋本 陽

テレオモルフとアナモルフのそれぞれに付いている学名は、今後一つにまとめられます。この命名規約の改定が、植物病名目録中の学名に与える影響について具体例を挙げ考察します。

3. 病原菌の学名の動向を把握する

三重大学大学院生物資源学研究所

中島 千晴

弘前大学農学生命科学部

田中 和明

学名の動向はどのように調べれば良いのでしょうか。昨年度の大会で使用された学名を例に、Mycobank ないし Index Fungorum といった菌類の学名データベースの読み取り方と、注意点を解説します。

進行

弘前大学農学生命科学部

田中 和明

テレオモルフ・アナモルフのそれぞれで学名を使い分けることは、植物病原菌類の挙動を正確に表現できるという大きな利点がありましたが、今後その「二重命名法」という特例は認められなくなります。3 名の方々に、命名規約の改正ポイント、植物病名目録の学名への影響、学名データベースの読み取り方をご講演頂き、学名統合の行方について考えたいと思います。

参加費 : 500 円 (会場費および資料印刷費) 、当日会場にてお支払いください。

お問い合わせ先:

植物病原菌類談話会 第 16 回コーディネーター: 田中和明 (弘前大学)

TEL: 0172-39-3816, E-mail : k-tanaka@hirosaki-u.ac.jp

同談話会代表幹事: 渡辺京子 (玉川大学)

TEL: 042-739-8247, E-mail: wkyoko@agr.tamagawa.ac.jp